様式第１号（第６条関係）

写真貼付箇所

縦４cm×横３cm

**個　　　　人　　　　調　　　　書**

|  |
| --- |
| **履　　　歴　　　書** |
| フリガナ |  | 性別 |  | 生年月日（年齢） | 　　　年　　月　　日（満　　歳） |
| 氏　名 |  |
| 現住所・連絡先 | 〒Tel Fax E-mail |
| **学　　　歴** |
| 年　月 | 事　　　項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| **職　　　歴** |
| 年　月 | 事　　　項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| **学会及び社会における活動等** |
| 現在所属している学会 |  |
| 年　月 | 事　　　項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| **賞　　　罰** |
| 年　月 | 事　　　項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| **現在の職務の状況** |
| 勤務先 | 職名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況 |
|  |  |  |  |
| 上記のとおり相違ありません。　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　氏名 　　　　　　印 |

（様式第１号裏面）

**記入上の注意**

1　採用公募の場合にのみ、写真を貼付して下さい。

2　「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、採用又は昇任時における満年齢を記入して下さい。

3 「学歴」の欄について

1. 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む）を有する場合、全ての学歴（授与された学位及び称号を含む）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入して下さい。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入して下さい。なお、学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、正確に記入して下さい。
2. 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記して下さい。
3. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入して下さい。この場合、登録番号等も併記して下さい。外国における資格にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記して下さい。
4. 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入して下さい。
5. 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットと片仮名を併記し、国名を必ず記載して下さい。職歴についても同様に扱って下さい。

4　「職歴」の欄について

1. すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入するとともに、職名、職位等についても明記して下さい。
2. 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入して下さい。
3. 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入して下さい。
4. 過去に大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む）で教員審査を受け、教員の資格があると認められた場合には、当該審査の時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあっては、判定結果を含む）を記入して下さい。また、過去に高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定の時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入して下さい。
5. 大学教員の職歴（非常勤講師を含む。）については、主な担当授業科目を併記して下さい。

5　「学会及び社会における活動等」の欄について

1. 「現在所属している学会」には、申請時において所属する学会の名称を記入して下さい。
2. 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入して下さい。
3. 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入して下さい。

6 　「賞罰」の欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入して下さい。

7　「現在の職務の状況」の欄について

1. 申請時現在における職務の状況について記入してください。
2. 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」、「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」、「理事」等の職名を記入して下さい。職名がない場合は「－」を記入して下さい。
3. 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入して下さい。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入して下さい。

8　記入する事項が無い項目については、空欄にせず「特記事項なし」と記入して下さい。